

学生担当者報 9

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/茶谷 良佐 編集責任者/辻 雄二郎

Vol. 415
立教 184 年
2021 年
8 月 25 日発行

TEL 0743-63-1511(内線 5817). 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780
E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp

お知らせ

九月例会

- ・期日 立教 184 年 9 月 25 日
- ・時間 15 時 30 分受付 16 時開始
- ・場所 教庁 4 階講堂

報告

七月例会

去る 7 月 25 日、教庁 4 階講堂において「七月例会」を開催。出席は 12 教区、49 直属。

人事

《立教 184 年 7 月 25 日付》

【直属学生担当委員長辞令交付】

- ・杉山 泰徳 (立野堀・野田)
- ・柳田 哲 (奈良・泉港)

業務記録

《立教 184 年 7 月 16 日～8 月 15 日》

- 7 月 20 日 勉強会チーム会議
- 24 日 担当者活動部部会
- 学修部部会
- まなびばチーム会議
- 25 日 委員会 例会
- 育成ミニ勉強会
- 研修会チーム会議
- 編集部部会
- 27 日 高校 3 年生 Joyous Style
- スタッフ事前研修会 (～28 日)
- 8 月 6 日 春の学生おぢばがえり
- プロジェクトチーム会議
- 勉強会チーム会議
- 7 日 第 1 回高校 3 年生 Joyous Style
- スタッフ直前研修会
- 8 日 第 1 回高校 3 年生 Joyous Style
- (～10 日)

「根気良く人材育成」



今年度に入っ
て、小学校に通う
息子たちがタブレ
ット端末を持ち帰ってきました。わ
が家には古い PC が一台あるだけ
で、Wi-Fi 環境もない家。そこに三
台ものタブレット端末が押し入っ
てきました。文部科学省が掲げる
「GIGA スクール構想」と呼ばれる
情報通信教育プロジェクトのよう
です。早速「Wi-Fi にしてー」と、
子どもたちが泣きついてきました。
「何を言っている、その願いは簡単
には聞き入れられないぞ」と反発す
る私。しかし、宿題がネット環境で
配布されるのだと矛をたてる子ど
もたち。彼らの背後に強大な敵の影
が見える……、私の盾はあっさり壊
されてしまいました。

困っているのは父兄だけではあ
りません。どうやら、教職員の方々
も悩んでいるようです。学校から
「タブレット端末使用について」と
いうお知らせが届きました。その中
には利用についてのアンケート調
査もあり、家庭環境下での利用規約
を定めようとするものでした。日記
の提出がメールになったのは、正
直、戸惑いました。字を書く機会が
減ると感じたからです。案の定、こ
れについては意見もあつたようで、
ノート提出に変更となりました。情
報通信教育は、今後、ますます普及
し、学校教育に関わらず、さまざま
な分野で活用されることでしょう。
学校側も保護者も、力を合わせて取
り組まなければならぬようです。

情報通信のことは、これから考え
ていくとして、教育や人材育成の基
本は、やはり対面でのやりとりであ
り、そのノウハウを学ぶことは、と
ても大切です。学生担当委員会では
人材育成の一助としてグループワ
ークを取り入れ、その中でコミュ
ニケーションや練り合いなどを円
滑に進めるための手法を数多く生
み出してきました。グループワー
クの導入も情報通信教育と同様
に、始めた当初は賛否があつたと
聞きます。しかし、長い年限をか
けて多くの人の苦労の上に磨き上
げられて、現在、土地所々、さま
ざまな人材育成の御用に活用され
ています。

人材育成部 委員

西田 昭芳

令和 3 年 学生担当委員会 活動方針 『共に教祖のようぼくに育つ』

https://tsa.tenrikyo.or.jp/tan/

- 10 日 第 2 回高校 3 年生 Joyous Style
- スタッフ直前研修会
- 11 日 第 1 回高校 3 年生 Joyous Style
- (～13 日)
- 14 日 学修部部会

立教百八十四年 天理教学生会 夏期リーダーの集い 開催報告

天理教学生会は、8月5日にZoomミーティングを用いて「立教184年天理教学生会夏期リーダーの集い」をオンラインにて開催し、学生54名、教区10団体19名、直属9団体12名、学生スタッフ23名）が参加しました。今回は、道の学生ひのきしんDAY(9月18日)に向けての話し合いに重点を置きました。

参加した学生の中には、画面越しでの参加に緊張の面持ちの者も見られましたが、自己紹介や簡単なゲームを通して交流をはかることで、肩の力がぬけたようでした。

次に学生は、天理教学生会発足の経緯について学ぶ時間を取り、学生会の目指すところが「信仰」と「学識」の向上、相互の「親睦」をはか

り、有為なるよう、ぼくとなることであると再確認しました。また、その上で今期の活動方針である「日々の生活の中で喜び合い、一人ひとりがやに喜んでもらえる姿になろう」に対して、それぞれが具体的にできる活動を考えました。

午後からは、「かしまの・かりもの」「ひのきしん」について天理教教典を基に感じたことを、班員と共有しました。そして、日々行う「ひのきしん」はもとより、道の学生ひのきしんDAYをどう迎えるかについて考え、お道につながる学生として心をひとつにすることを誓い合い、今回の夏期リーダーの集いを終えました。

青空

私が東京教区の学生担当委員になって間も無い頃、学生に「俺が学生会の頃はこんなことをしてた」と得意げに話しているところを学担の先輩に「お前の話をしようとする。学生の話を聞いてやるのが学担の務めだよ」とご注意を頂きました。

学修でカウンセラーを務める時にその先輩に相談した時も、「とにかく生徒の話を聞いてやれ。大人みたいにすぐに言葉が出てこないから、とにかく話してくれるまで何十分でも黙って待つんだ。上手くやろうとしなくていいからとにかく寄り添うだけがいい」とアドバイスを頂きました。

その言葉を頼りに臨んだ学修で「ライフライン」をしている時に一人の学生が言葉に詰まりました。10分間沈黙が続いた後、その生徒が涙を流しながら心の内を話してくれました。普段会話の中でそのような沈黙があればこちらが話すのが優しさですが、こと学生を育成する上では我慢強く「寄り添う」ということが大切なのだと思わせていただきました。人の言葉や良い部分を引き出すような務めをさせていただきます。ありがとうございます。

人材育成部本部スタッフ 井餘田儀大

高校3年生 Joyous Style 開催報告

この度、「高校3年生 Joyous Style」を、東右一棟を会場に二泊三日で二回に亘り開催した。各回の定員は百名とし、宿泊は一人一部屋、マスク必着、検温実施、換気の徹底、校舎と宿舎の消毒作業の徹底、ソーシャルディスタンスの確保、またスタッフ全員が直前に抗原検査をするなど、あらゆる感染対策を講じた上での実施となった。受講生は第一回(8月8日〜10日)83名。第二回(8月11日〜13日)76名の合計159名であった。

今回のテーマは「感謝」と掲げ、さまざまなエクササイズを通して相互の交流を深めながら、それぞれがゆっくりと自らを見つめ直し、心を整理するとともに、三度の講話(「親神様・教祖・おちば」「かしまの・かりもの」「明日の君たちへ」と「ふりかえり」を通して、御教えに触れながら、身の内の御守護や自分を支えてくれる存

在に気付くなど、改めて「感謝の心を養う」尊い機会となった。

受講した学生のアンケートには「おちばのありがたさを実感した」「感謝についてたくさん学べた」「育ててくれた親にありがたうと言いたい」「当たり前前ありがたさに気付いた」「改めてお道の素晴らしさを感じた」等々、短い期間ではあったがおちばで出会った仲間と共に、さまざまなことを学び、感じてくれた様子がうかがえた。

只今の状況下にあつて無事開催できたことは、親神様、教組のお守りは申すまでもなく、全スタッフの育成に対する熱意と献身的な務めの賜物ですが、とりわけ今回学生を送り込んでくださった直属学生担当委員の方や、保護者の皆様方のご理解とご協力には、深く感謝申し上げます。誠に有難うございました。

明日につながる 学生WEBSITE Happist

<https://happist.net>

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介します
- おちばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け



QRコード読み取り

学生に手渡しできるリーフレット
HAPPIST [NOT] NET

毎月25日発行。例会資料としてお配りしています。
追加のご希望は学生担当委員会事務局編集部まで。